

科目区分	専門分野			科目番号	0706	曜日 時間	不定期
授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅳ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次 後期	授業形態	講義
担当教員	内村 真美						
授業目的	暮らしの場で行われる治療と看護を学ぶ						
中核	地域で療養する人とその家族の生活を支える看護技術						
授業目標	1. 在宅看護における自己決定支援の必要性が理解できる 2. 日常生活を支える看護技術を理解できる 3. 療養を支える看護技術を理解できる 4. 在宅療養者の状態および状況に合わせた看護が理解できる						
授業の内容と方法	回	授業内容		授業方法	時間		備考
	1	在宅看護における倫理的課題と権利擁護		講義	30	内村 真美	
	2	生活を支える在宅看護技術 (食べること、トイレに行くことを支援する)		講義・GW			
	3	生活を支える在宅看護技術 (きれいにすること、動くことを支援する)		講義・GW			
	4	医療管理を必要とする在宅看護技術 (経管栄養法(胃瘻・中心静脈栄養法))		講義・GW			
	5	医療管理を必要とする在宅看護技術 (膀胱留置カテーテル、ストーマケア)		講義・GW			
	6	医療管理を必要とする在宅看護技術 (薬物管理(服薬管理・輸液管理))		講義・GW			
	7	医療管理を必要とする在宅看護技術 (褥瘡管理)デモンストレーション		講義 デモンストレーション			
	8	医療管理を必要とする在宅看護技術 (酸素療法(非侵襲的陽圧換気・人工呼吸器管理))		講義・GW			
	9	医療管理を必要とする在宅看護技術 (鼻腔・口腔吸引)		演習 (必修)			
	10	医療管理を必要とする在宅看護技術 (鼻腔・口腔吸引)		演習 (必修)			
	11	在宅療養者の状態および状況に合わせた看護 (独居の療養者、認知症のある療養者、小児の療養者)		講義・GW			
	12	在宅療養者の状態および状況に合わせた看護 (難病をもつ療養者、精神障害をもつ療養者)		講義・GW			
	13	在宅療養者の状態および状況に合わせた看護 (機能低下予防、再発予防が必要な療養者)		講義・GW			
	14	在宅療養者の状態および状況に合わせた看護 (リハビリテーション期にある療養者)		講義・GW			
	15	在宅療養者の状態および状況に合わせた看護 (終末期にある療養者、死後の処置)		講義 デモンストレーション			
課題等							
評価計画 方法	筆記試験100%						
テキスト 参考図書	河原加代子他著：専門分野 地域・在宅看護論Ⅱ【電子版】，医学書院 参考) 医療情報科学研究所：公衆衛生がみえる，メディックメディア						
実務歴 有	訪問看護師						
講義への 反映							
備考	リフレクションノートおよびポートフォリオ用のクリアファイル等は各自準備すること						